

2012年6月25日

報道関係各位

社団法人 日本脳卒中協会
サノフィ・アベンティス株式会社

「第9回 NO 梗塞アカデミー東北大会」開催 - 被災地における脳梗塞の再発予防を啓発 -

社団法人 日本脳卒中協会(所在地:大阪市阿倍野区、理事長:山口武典、以下「日本脳卒中協会」)およびサノフィ・アベンティス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールドイング、以下「サノフィ・アベンティス」)は、本年6月24日(日)、脳梗塞再発予防および発症予防を啓発するNO 梗塞 NO リターンキャンペーン「第9回 NO 梗塞アカデミー 東北大会」を盛岡市において開催し、全国から約300名の脳梗塞患者さんやそのご家族、および一般参加者の方々が参加されました。

昨年3月に発生した東日本大震災の影響を受け、被災地では、ストレスの高まりや医療機関の減少により様々な疾病の重症化や患者数の増加が、今なお懸念されています。国内の死亡原因第4位¹である脳卒中の約7割を占める疾患²である脳梗塞もその1つです。脳梗塞は、正しい疾患知識の普及と発症時の適切な対応が、重症化を防ぐ上で不可欠であり、被災地においても非常に重要となります。

東北地方のこうした現状を踏まえ、「第9回NO梗塞アカデミー 東北大会」では、日本脳卒中協会 岩手県支部支部長 寺山靖夫先生(岩手医科大学 内科学講座 神経内科・老年科分野 教授)を特別講師に迎え、「脳梗塞は未然に防げる病気ー前兆を見逃さない」と題して基調講演をしていただきました。

脳梗塞の前兆の見分け方と対処法、予防と治療の概要についての講演に続き、パネルディスカッションが行われ、開催地の岩手県に加え、福島県、宮城県から参加された医師が、それぞれの地域医療の現場における脳梗塞治療の問題点および解決策についてディスカッションされました。

今回のNO 梗塞アカデミーでは、会場においてアナライザーを使用してアンケートを実施したことで、一般参加者の理解度を可視化しました。オープニング時のアンケートでは「脳梗塞に前兆症状があること」を「知っている」と回答した人は参加者のうち約85.7%、「再発しやすい病気であることを知っていますか」との質問に「知っている」と回答した人は約85.2%でした。しかし、NO 梗塞アカデミー受講後に行った同じ質問に対しては、「脳梗塞に前兆症状があると知っている」と回答した人が約96.5%、「再発しやすい病気であることを知っている」と回答した人が約98.5%と、それぞれ増加しました。

日本脳卒中協会とサノフィ・アベンティスは、今後も「NO 梗塞アカデミー」のイベントなどのキャンペーンを通して、脳梗塞の再発予防の重要性を患者さんや一般の方々に理解していただくための啓発活動を継続的に実施していく予定です。

以上

1.厚生労働省「平成23年 人口動態統計月報年計(概数)」

2 荒木ら、脳卒中データバンク 2009

脳梗塞再発予防キャンペーン「NO 梗塞 NO リターン」について

脳梗塞の再発予防の啓発を目的として、日本脳卒中協会とサノフィ・アベンティスは、共同事業として 2008 年 9 月より「NO 梗塞 NO リターン」キャンペーンを展開しています。本キャンペーンの中核イベントである「NO 梗塞アカデミー」は、全国で順次開催されています。これまで、2008 年に大阪・熊本、2009 年に横浜・名古屋・金沢・和歌山、2010 年に札幌、2011 年に長崎で開催されました。

社団法人 日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及及び社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、平成 9 年 3 月に設立され、平成 17 年 3 月に社団法人として認可されました。平成 24 年 5 月現在、46 都道府県に 48 の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。また、NPO 法人 全国脳卒中者友の会連合会の支援も行っています。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ (<http://jsa-web.org>) をご参照ください。

サノフィ・アベンティス株式会社について

サノフィ・アベンティスは、約3,000人の社員を擁し、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、主要治療領域である糖尿病、オンコロジー、血栓症、循環器疾患、内科系疾患、中枢神経系疾患において、患者さんの治療に貢献する医療用医薬品の研究開発、製造・販売を行っています。サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です。

【参考資料】

「第9回NO梗塞アカデミー 東北大会」開催概要

日時 2012年6月24日(日)13:00～15:30
会場 岩手教育会館(岩手県盛岡市大通1-1-16)

[挨拶] 端和夫先生(日本脳卒中協会 副理事長)

[基調講演] 寺山靖夫先生

(日本脳卒中協会 岩手県支部 支部長
岩手医科大学 内科学講座 神経内科・老年科分野 教授)

[パネルディスカッション]

コーディネーター 小笠原邦昭先生(岩手医科大学 脳神経外科学分野 教授)

パネリスト① 浜登文寿先生(岩手県 はまと神経内科クリニック 院長)

パネリスト② 長嶺義秀先生(宮城県 広南病院 東北療護センター センター長)

パネリスト③ 渡部洋一先生(福島県 福島赤十字病院 副院長 脳神経外科)

共催 社団法人 日本脳卒中協会、サノフィ・アベンティス株式会社

後援 岩手県医師会、盛岡市医師会、岩手県看護協会、岩手県薬剤師会

講義の様子



日本脳卒中協会 岩手県支部 支部長
岩手医科大学 内科学講座 神経内科・老年科分野
教授 寺山 靖夫 先生